

©京都市交響楽団

京都市交響楽団

第689回
定期演奏会

〈首席客演指揮者・就任披露演奏会〉
新首席客演指揮者
ヤン・ヴィレム・デ・フリースト就任!



©Marcel van den Broek



©Susie Knoll

指揮：ヤン・ヴィレム・デ・フリースト（首席客演指揮者）

ピアノ：デヤン・ラツィック★

Conductor: Jan Willem de Vriend (Principal Guest Conductor)

Piano: Dejan Lazić★

京都市交響楽団

フライデー・ナイト・スペシャル

2024 The 689th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra
Friday Night Special

5/24金 **フライデー・ナイト・スペシャル**

午後7時30分開演（午後6時30分開場）**休憩なし**

Fri, May 24, 2024 / 7:30PM
<Friday Night Special> with no intermission

モーツァルト：ピアノと管楽器のための五重奏曲
変ホ長調 K.452★

モーツァルト：セレナード ニ長調 K.239 「セレナータ・ノットウルナ」

モーツァルト：セレナード ト長調 K.525 「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」

Mozart: Quintet for Piano and Winds in E-flat major K.452★

Mozart: Serenade in D major K.239 "Serenata notturna"

Mozart: Serenade in G major K.525 "Eine kleine Nachtmusik"

開演前
（午後7時ごろから）は
指揮者による
「プレトーク」で
お楽しみください。
「プレトーク」はホール・
ステージ上に開催します。

京都コンサートホール

京都市営地下鉄丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分
Kyoto Concert Hall

フライデー・ナイト・スペシャル はいつもと違う!

～気軽にオーケストラ・サウンドが楽しめる、
それが〈フライデー・ナイト・スペシャル〉!～

- ★ 夜7:30開演なので、仕事帰りにも行きやすい!
- ★ 休憩なしのプログラムに楽しみを凝縮!
- ★ 親しみやすい曲、ピアノ独奏曲など、多彩な曲目のセレクトで
金曜の夜を楽しめる! ◎・Ⓜ両日鑑賞で京響定期のコンプリートも!
- ★ 土曜公演よりもリーズナブルな料金設定で来場しやすい!

入場料 5/24金公演 **フライデー・ナイト・スペシャル** 2024. 3/15金から発売

◎4,000円 ▲3,500円 ◎3,000円
◎2,000円 ◎1,500円（舞台後方席）

「U22」当日残席がある
場合のみ発売 ◎1,500円 ▲1,000円 ◎500円 ◎500円

※22歳以下のお客様が対象です。開演1時間前から発売（当日券売場にてお買い求めください）。
電話や窓口での事前予約はできません。席種は選べますが、座席指定はできません。
ご購入及びご入場の際には年齢の確認ができる証明書をご提示ください。

- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」（有料・要予約・定員10名）
をご利用ください。（お子様お1人につき1,000円/2024年5月17日
までに京響075-222-0347へお申し込みください）
- ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引（10%OFF）が
あります。京響（075-222-0347）までお問い合わせください。
- ◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。
京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱い
（窓口で手帳等の証明書をご提示ください）。

チケット
ご予約

- 京都コンサートホール (075) 711-3231
- ロームシアター京都 (075) 746-3201
- 24時間オンラインチケット購入
<https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード252-727
- ローソクチケット <https://l-tike.com/> Lコード55370

お問い合わせ

京都市交響楽団 (075) 222-0347
<https://www.kyoto-symphony.jp/>
京都コンサートホール (075) 711-3231
<https://www.kyotoconcerthall.org/>

◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。
◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。



主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市

協賛：ローム株式会社

協力：株式会社ドルチェ楽器

後援：(株)エフエム京都

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。



2022年5月の「第667回定期演奏会」でモーツァルトとシューベルトを指揮して京響デビューを飾ったヤン・ヴィレム・デ・フリーントは、その分析力と音楽性で彼の稀有なセンスを余すことなく発揮し、京響でのポジションを獲得しました。就任1年目の今シーズン、就任披露となる1回目の定期の〈フライデー・ナイト・スペシャル〉ではモーツァルトを取り上げます。お馴染みの「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」など弦楽合奏を中心に、ピアノのデヤン・ラツィックが京響の管楽器奏者とモーツァルトの傑作、ピアノと管楽器のための五重奏曲を披露します。ラツィックはクロアチアのザグレブで生まれ、子供の頃から神童と謳われ、モーツァルトに天才的な解釈力を持つと言われていました。そのラツィックが、モーツァルトの名曲を京響の名手たちと共に奏でます。鬼才と鬼才のぶつかり合いを存分にご堪能いただける演奏になることでしょう。どうぞご期待ください！

指揮 ◆ ヤン・ヴィレム・デ・フリーント (首席客演指揮者)

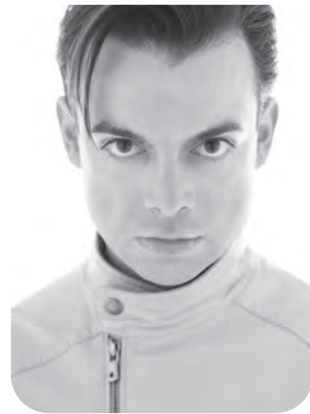
ヤン・ヴィレム・デ・フリーントは、ウィーン室内管弦楽団首席指揮者、シュトゥットガルト・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者、ベルゲン・フィルハーモニー管弦楽団アーティストティック・パートナー。ベルギー国立管、香港フィル、メルボルン響、リヨン国立管、ロツテルダム・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、チューリッヒ・トーンハレ管、読売日響等にも定期的に客演。2015-2019年ハーグ・レジデンティ管の首席指揮者、2006-2017年フィオン・ヘルダーラント&オーファーアイセル管の常任指揮者、2015-2021年バルセロナ響の首席客演指揮者、2008-2015年ブラバント管の首席客演指揮者を歴任。デ・フリーントは、1982年に自ら創設し、2015年まではコンサートマスターとしてもリードしたコンパティメント・コンソート・アムステルダムの音楽監督として国際的な名声を確立した。18世紀音楽を専門とし、バロック奏法をモダン楽器に適用することで、コンパティメント・コンソート・アムステルダムは数多くの耳慣れない作品に新たな生命を与え、そのコラボレーション精神は、デ・フリーント自らが探求して力を注ぐ交響曲のレパートリーや、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、メンデルスゾーン、シューマン、ブラームス等の音楽へのアプローチの中に息づいている。オペラ分野では、ヨーロッパとアメリカにおいて、コンパティメント・コンソート・アムステルダムとのエヴァ・ブッフマン演出によるモンテヴェルディ、ハイドン、ヘンデル、テレマン、J.S. バッハ作品のほか、オランダ響ともモーツァルト、ヴェルディ、ケルビーニのオペラを取り上げ、またアムステルダム、バルセロナ、ストラズブル、ルツェルン、ベルゲンでもオペラを指揮している。デ・フリーントはオランダでテレビ・シリーズにもいくつか出演するなど、様々な音楽番組への登場で知名度も高く、2012年にはクラシック音楽へのクリエイティブな貢献に対し、オランダ公共放送NPO Radio 4から賞を贈られた。2024年4月から京都市交響楽団の首席客演指揮者に就任。



©Marcel van den Broek

ピアノ ◆ デヤン・ラツィック

デヤン・ラツィックのレパートリー作品に対する新鮮な解釈は、同世代の最も個性的で非凡な才能を持つソリストの一人としての彼の地位を確固たるものにした。ラツィックは、アトランタ響、オーストラリア室内管、ボストン響、ブダペスト祝祭管、シカゴ響、バーミンガム市響、デンマーク国立響、ヘルシンキ・フィル、香港フィル、バーゼル室内管、メルボルン響、NDRエルブフィル、ネーデルラント・フィル、NHK響、ロツテルダム・フィル、ソウル・フィル、スウェーデン放送響、フロリダ管、読売日響へ定期的に客演するほか、指揮者では、マルク・アルブレヒト、イヴァン・フィッシャー、マイケル・フランシス、アンドリス・ネルソンス、ダニエル・ライスキ、ロバート・スパン、クシシュトフ・ウルバンスキ、ヤン・ヴィレム・デ・フリーント、山田和樹ほかと親密なコラボレーションを築いている。室内楽とリサイタルでは、テアトロ・コロロン(ブエノスアイレス)、リンカーン・センター(ニューヨーク)、メルボルン・リサイタル・センター、紫禁城コンサートホール(北京)などで演奏し、ジョシュア・ベル、ソル・ガベッタ、アドリアス・オッテンザマー、ベンジャミン・シュミットほかとの共演でグシュタード・メニューイン・フェスティバルなどの音楽祭にも出演。録音でも、BRクラシック、オニックス、ソニー・ミュージック、チャンネル・クラシックス等のレーベルから多数リリースし、「オーパス・クラシック賞2021」、「エコークラシック賞2009」を受賞するなど高い評価を受けている。作曲家としては2015年からシコルスキ音楽出版に所属。今シーズン、彼の作品はヨーロッパとアメリカで演奏され、新録音CDもリリース。デヤン・ラツィックは、クロアチアのザグレブで音楽一家に生まれ、ザルツブルクで育ち、モーツァルト音楽大学でクラリネット、ピアノと作曲を学んだ。ハンガリーのバルトーク・フェスティバルでゾルターン・コチシュとイムレ・ローマンに若くして出会ったことが音楽家としての道を進むことを決定づけ、ペーテル・エトヴェシュからも同様に大きな影響を受けた。アムステルダム在住。
<https://www.dejanlazic.com>



©Susie Knoll

京都市交響楽団

1956年に創立し、日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つオーケストラ。2015年、第12代常任指揮者の広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞、同年6月、広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収めた。平成28年度地域文化功労者表彰、2017年「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞等を受賞。2020年4月、第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一(2022年3月まで)、首席客演指揮者にジョン・アクセルロッド(2023年3月まで)が就任。2008年4月から2022年3月まで14年間にわたり常任指揮者を務めた広上淳一のもとでは、数々の名演を生み出して黄金時代を築き上げた。2023年4月から第14代常任指揮者に沖澤のどかが就任、さらに2024年4月からは首席客演指揮者にヤン・ヴィレム・デ・フリーントが就任。京響は今、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。



©井上享真事務所 井上嘉和

次回予告

井上道義、ラスト京響定期はショスタコーヴィチ祭り！
盟友クニャーゼフとの共演も聴き納め！

開演前
ブレイクあり

会場 京都コンサートホール 指揮 井上 道義 独奏 アレクサンドル・クニャーゼフ(チェロ)* 合唱 京響コーラス*

2024 6/21(金)午後7時30分開演 **フライデー・ナイト・スペシャル**
〈休憩なし〉

曲 目
ショスタコーヴィチ: チェロ協奏曲 第1番 変ホ長調 作品107*
ショスタコーヴィチ: 交響曲 第2番 ロ長調 作品14「十月革命」*

入場料 5,400円 3,500円 3,000円
2,000円

2024 6/22(土)午後2時30分開演

曲 目
ショスタコーヴィチ: チェロ協奏曲 第1番 変ホ長調 作品107*
ショスタコーヴィチ: チェロ協奏曲 第2番 長調 作品126*
ショスタコーヴィチ: 交響曲 第2番 ロ長調 作品14「十月革命」*

入場料 5,500円 5,000円 4,000円
3,000円

2024.4/13(土)から発売!

京都市交響楽団
第 690 回
定期演奏会



©Yuriko Takagi



©James McMillan

Conductor: Jan Willem de Vriend (Principal Guest Conductor)

Piano: Dejan Lazic

City of Kyoto Symphony Orchestra